

令和6年度

施

設

概

要

体験の風を
おこそう



施設マスコット：ササビー



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立赤城青少年交流の家

国立赤城青少年交流の家は、団体宿泊訓練を通じて健全な青年の育成を図ることを目的として文部省(現文部科学省)により、全国7番目の国立青年の家として昭和45年4月に設置(昭和46年4月開所)され、平成13年4月に独立行政法人国立青年の家国立赤城青年の家に、平成18年4月には、現在の独立行政法人国立青少年教育振興機構国立赤城青少年交流の家となりました。そして、令和3年4月には開所50周年を迎えることができました。

上毛三山(赤城山・榛名山・妙義山)の一つ赤城山南麓の標高530メートルに位置する国立赤城青少年交流の家は、四季を通じて豊かな自然環境に恵まれ、体験と交流の場を提供することにより、共に学びあえる施設づくりに努めています。

目次

所旗・所章/マスコット/運営体制	2
沿革	3
研修施設の概要	4
施設配置図	5
利用案内	7
令和5年度利用状況	8
令和6年度教育事業計画一覧表	9



所旗・所章

△ は、赤城山と青年の「家」をかたどり、同時に青年の向上心を表しています。

○ は、首都圏を意味するとともに、青年たちの友情にみちた連帯と和を示しています。

A は A k a g i の A を表しています。



所旗は、この所章をあしらったもので、地色の浅緑は澄みわたった大空と関東の緑野、そして青年の「若さ」を意味しています。

マークの朱色は赤城山に咲くれんげつつじの色と青年の家のともしびを模し、青年の情熱と心のあたたかさを象徴したものです。

所旗・所章ともに、国立赤城青年の家として設置された昭和46年に制定されたものです。

マスコット

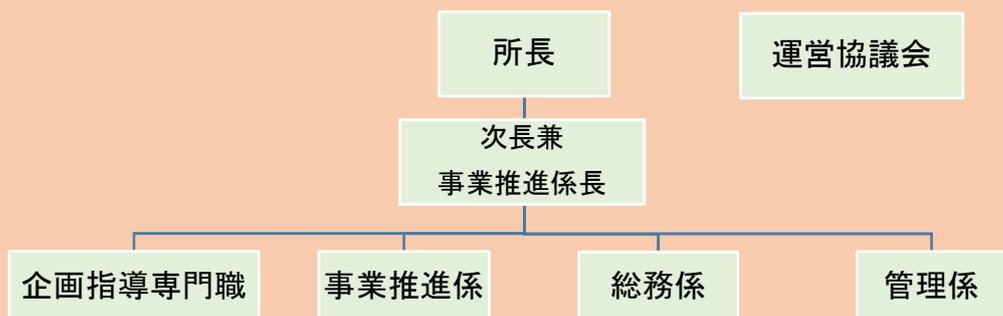
当施設のマスコットはムササビをモチーフにした「ササビー」です。平成30年度に公募を行い、76件の応募の中から、当施設職員と富士見地区の小中学生による投票の結果、箕輪茜さん（当時、太田情報商科専門学校）の作品が選ばれました。



運営体制（令和6年4月1日現在）

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立赤城青少年交流の家



沿革

- 昭和 45 年 文部省令第 11 号の施行により、群馬県勢多郡富士見村に国立赤城青年の家を設置(4/17)
- 46 年 所旗・所章を制定(2/26)、所歌を制定(3/4)、管理棟・サービス棟・宿泊棟竣工、受入れ開始(3/20)、開所式を挙(4/28)、自然遊歩道完成(8/3)、体育館竣工(12/25)
- 47 年 グラウンド・テニスコート・屋外バレーボールコート竣工(1/30)、武道館竣工(12/15)
- 50 年 特別研修棟竣工(4/13)
- 52 年 野外訓練コース(フィールドアスレチック)竣工(1/28)、大型バス等車庫竣工/自然植物園第 1 次計画造成(12/5)
- 54 年 交流棟竣工(5/31)
- 56 年 講師・ボランティア棟竣工(2/20)、開所 10 周年記念式典挙(4/19)
- 57 年 開所以来延べ宿泊者 100 万人を突破(5/30)
- 60 年 浴室増設(中浴室竣工)(12/16)
- 平成 3 年 開所 20 周年記念式典挙(10/29)
- 6 年 生活棟竣工(3/30)、開所以来延べ宿泊者 200 万人を突破(7/9)
- 7 年 管理棟・宿泊棟・サービス棟他外壁塗装工事、ボイラー1 基更新・湯槽 1 基新設(2/28)
- 8 年 受変電設備更新、給排水設備更新(3/29)、改修工事のため受入休止(H8.11~H9.3)
- 9 年 管理研修棟・談話室・厨房改修工事竣工(3/31)
- 11 年 第 2 キャンプ管理棟竣工(12/17)
- 13 年 独立行政法人国立青年の家国立赤城青年の家に移行(4/1)、開所 30 周年記念式典挙(12/1)
- 14 年 キャンプ場センター棟、屋根付広場竣工(8/1)
- 15 年 浴室棟竣工(3/25)
- 18 年 独立行政法人青少年教育振興機構国立赤城青少年交流の家に移行(4/1)
- 21 年 開所以来延べ宿泊者 300 万人を突破(4/14)
- 22 年 宿泊棟他耐震改修工事完成(3/25)
- 23 年 浴室棟暖房設備他改修工事完成(3/15)
- 27 年 体育館照明落下防止対策工事完成(1/26)
- 27 年 宿泊棟手摺等改修工事完成(2/27)
- 29 年 開所以来延べ宿泊者 400 万人を突破(4/19)
- 30 年 PA、キャンプ場、センター棟、屋根付広場、多目的フィールド及びテニスコートからなる一連の施設を「あかぎアドベンチャーエリア(AAA)」と命名(2/9)、マスコットキャラクター「ササビー」公募にてリニューアル(10/1)
- 31 年 幼児向けの自然を活用した運動遊び場「ササビー広場」完成(3/29)
- 令和 元年 ササビー広場オープニングセレモニー(8/27)
- 2 年 国立大学法人群馬大学との連携・協力に関する協定(3/10)
国立赤城青少年交流の家【公式】YouTubeチャンネルの開設(4/1)
- 3 年 前橋市との地域防災計画に関する協定締結(1/22)、開所 50 周年記念式典(4/24)
国立青少年教育振興機構広域防災補完拠点整備事業に伴う工事
- 4 年 「国立青少年教育施設における教育機能向上を目的とした設備等の充実」
計画における「SDGsを意識できる野外炊事場」工事
- 5 年 「SDGsを意識できる野外炊事場」オープニングセレモニー



研修施設の概要

名称		収容人数	名称		収容人数	
管理 研修棟 1階	講堂	200人	武道館	剣道室	50人	
	講師ロビー	10人程度		柔道場	50人	
	保健室	1人	棟1階 サービス	なごみの間	42人	
	静養室	3人				
	荷物置き場	約200人分				
管理 研修棟 2階	第1研修室 第2研修室	81人	棟2階 サービス	食堂ホール	250席	
	第3研修室	36人		売店・ラウンジ	—	
	第4研修室 第5研修室 第6研修室	42人		A棟(洋室)	最大86人	
				B棟(洋室)	最大86人	
	第7研修室 第8研修室	36人		C棟(和室)	最大106人	
				D棟(和室)	最大106人	
	特別 研修棟	音楽室		120人	E棟(和・洋室)	最大94人
		和室		50人	和室	最大20人
					ゲストルーム1~4	各1人
	プレ イル ーム	2階プレイルーム		50人	特別講師棟	最大8人
宿泊棟						
アクティビティホール		100人	営火場	100人		
体育館		31m×29m	しらさぎ炊事場	64人		
浴室棟		100人	屋根付き広場	200人		
			SDGs 野外炊事場	48人		
			ササビー広場			



体育館



講堂



研修室



音楽室



浴室棟



センター棟&屋根付き広場



食堂



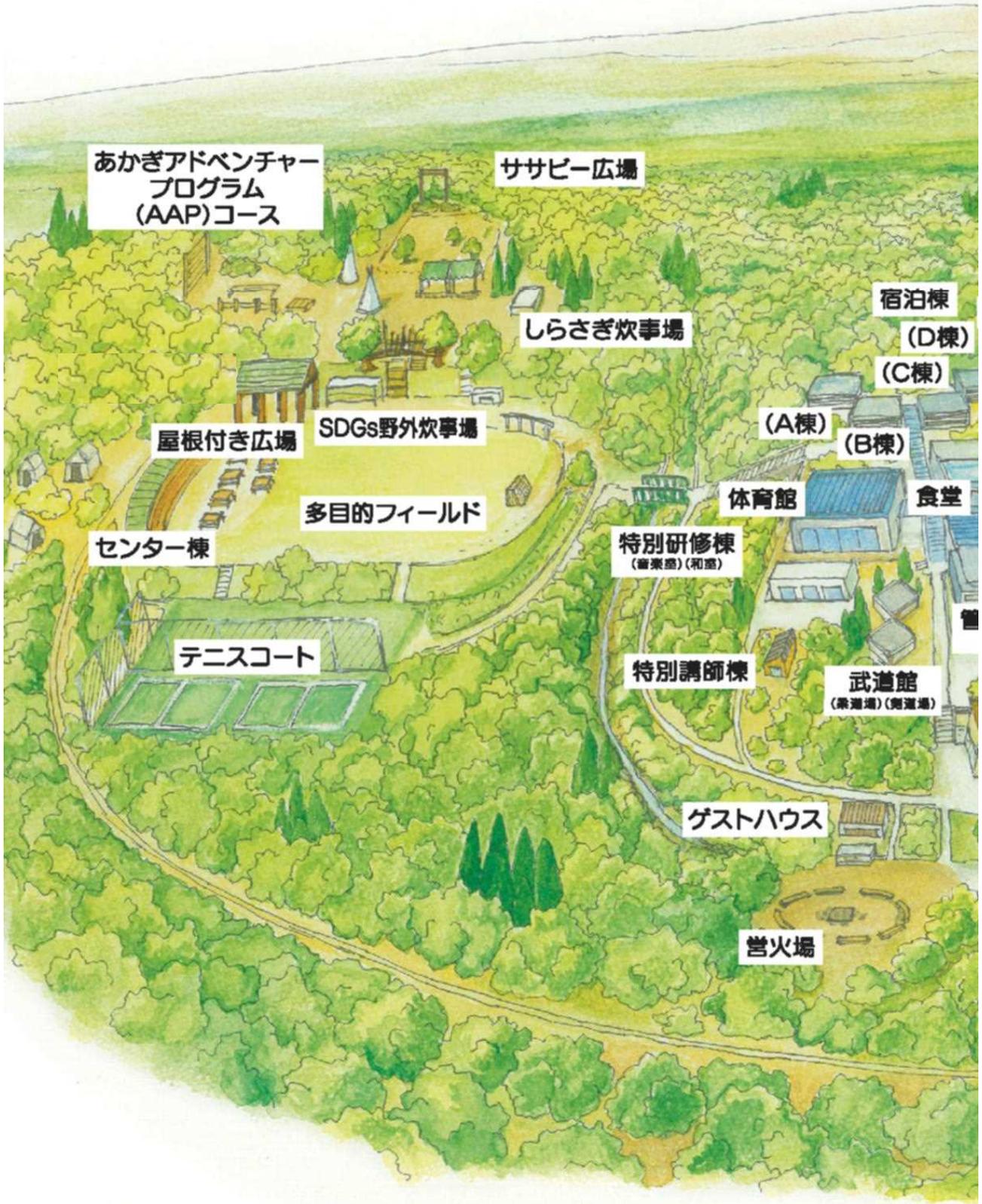
柔道場

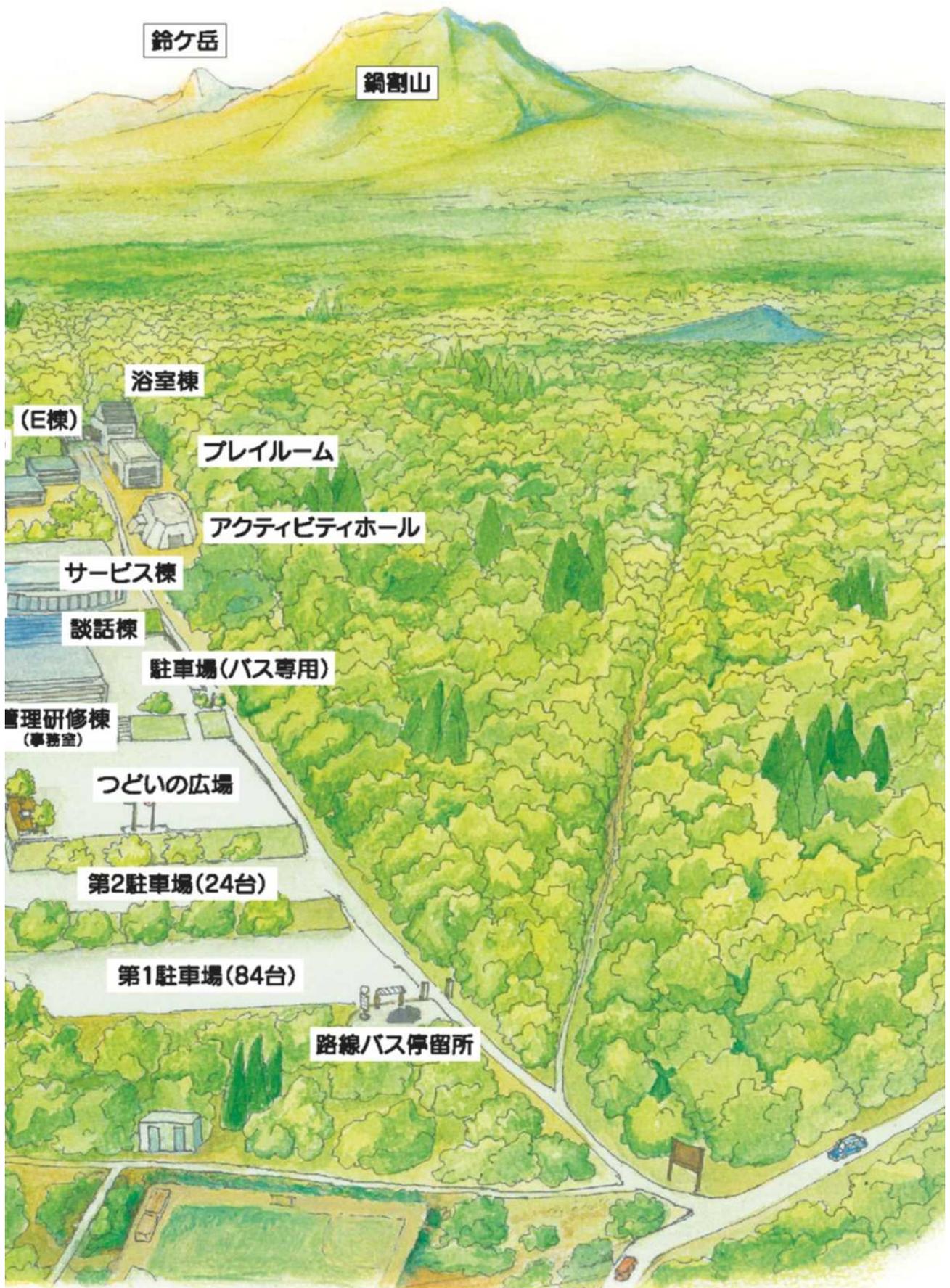


剣道場

施設配置図

敷地面積 (244, 246. 61 m²) 標高 (530m)





利 用 案 内

1. 利用できる団体

成人の引率者がいて、あらかじめ具体的な研修計画を持った2名以上の団体です。

主に学校、教育関係の施設や団体、青少年を対象とした活動を行う団体、地域などの団体やサークル、官公庁、企業、ファミリーなどの団体が利用しています。

2. 申込みの流れ

(1) WEB 予約：希望日の空き状況を HP で確認のうえ、申し込みを行います。

(2) 内定通知書受取：申込み受付が済み次第、内定通知書を送ります。

(3) 書類提出：必要書類の提出を行います。

① 利用日の2か月前まで：活動計画書（1・2）

② 利用日の1か月前まで：食事申込書、食物アレルギー事前確認票、教材申込書

③ 利用当日に持参：利用者名簿、利用団体票

3. 利用できない日

(1) 12月29日～1月4日（12月28日は宿泊不可）

(2) 上記のほか、施設が定める日（詳細はHP参照）

4. 利用料金<令和6年4月1日より料金改正>

(1) 宿泊施設使用料

利用区分	料 金	備 考
幼児（年少以上）	300 円／泊（1 人）	※（4 泊以上の利用）期間中定額 ※テント泊は 300 円/泊
子供（小学生～高校生）	600 円／泊（1 人）	※（4 泊以上の利用）期間中定額 ※テント泊は 300 円/泊
大人（18 歳以上）	2,500 円／泊（1 人）	※（7 泊以上の利用）期間中定額 ※学生は 1,200 円/泊 ※テント泊は 1,200 円/泊

(2) 食事料金（本館食）

年齢区分	朝 食	昼 食	夕 食
中学生以上	550 円	660 円	800 円
小学生	530 円	640 円	780 円
幼児（3 歳以上）	440 円	520 円	670 円

※弁当や野外炊事、活動備品、特定研修活動の指導は別途料金がかかります。

5. 標準生活時間

6:00	7:00	7:20	9:00	12:00	13:30	16:30	17:00	17:30	19:00	22:00	23:00
起床・洗面	朝のつどい	朝食・清掃	退所点検	午前の活動	昼食	午後の活動	代表者会議	夕べのつどい	夕食	夜の活動	片付け・就寝
									入浴		

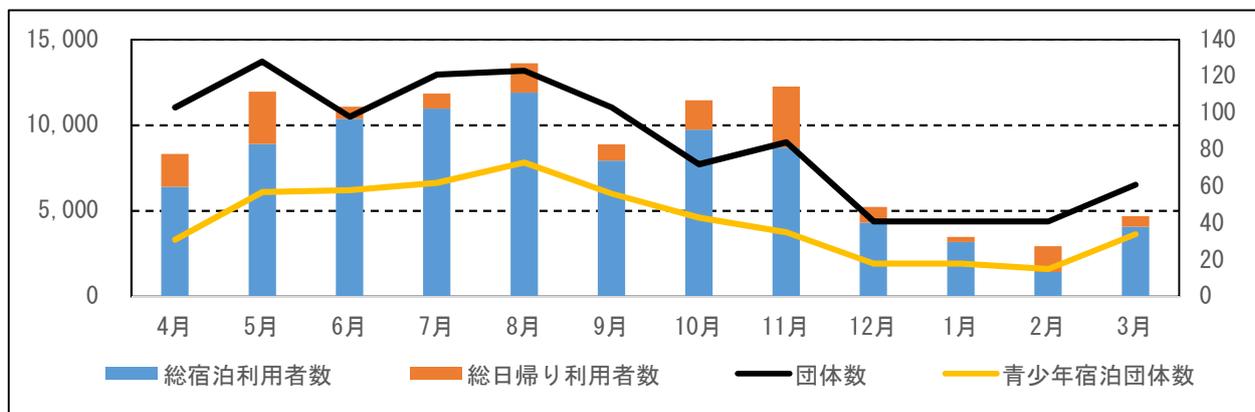
※提出いただいた活動計画書をもとに、交流の家職員が活動・生活時間や活動場所の調整を行います。

令和5年度 利用状況

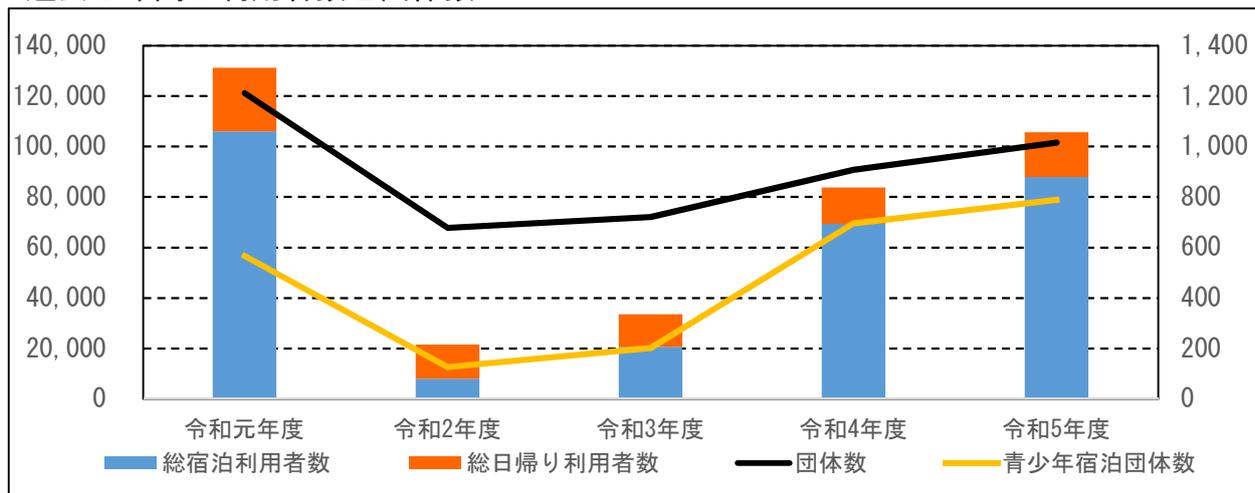
1. 総利用者数 105,484人（宿泊総利用者数 87,364人、日帰り総利用者数 18,120人）

2. 団体数 1017団体（宿泊青少年団体数 792団体）

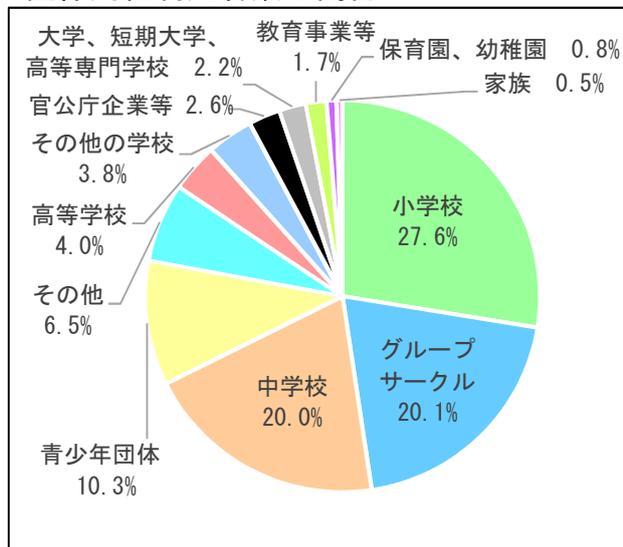
3. 令和5年度月別利用者数と団体数



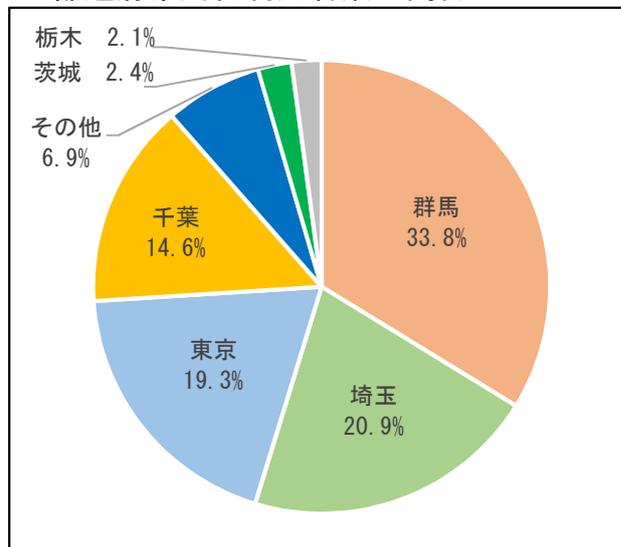
4. 過去5年間の利用者数と団体数



5. 団体別総利用者数の割合



6. 都道府県別総利用者数の割合



令和6年度 教育事業計画一覧表

1. 青少年対象事業

No.	事業名	期 日	対 象	人数	趣旨 (ねらい)
1	あかぎ無限大キャンプ (ボラキャンプ)	7/6(土)~7/7(日)	キャンプ参加 ボランティア	8	7泊8日の長期自然体験キャンプで、参加者の活動をサポートするためのスキルを学ぶ。
2	あかぎ無限大キャンプ ①事前キャンプ ②本キャンプ ③事後キャンプ	①7/13(土)~7/14(日) ②8/11(日)~8/18(土) ③9/14(土)~9/15(日)	小学校5~6年 生	24	①7泊8日の長期自然体験活動において、協働的な体験プログラム(野外炊事、赤城山登山、レクリエーション等)を通して、多様性を認め合える意識の醸成を図る。 ②7泊8日の長期自然体験活動(集中的な屋外活動)の外遊びを通して、近視進行の抑制(健康の保持増進)を図る。
3	全国高校生体験活動顕彰制度 「地域探究プログラム」 オリエンテーション合宿	8/4(日)~8/6(火)	高校生	20	宿泊を伴うオリエンテーション合宿を通して、探究のプロセスを体験し、ものごとを探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力などを身に付ける。

2. 生活・自立支援事業

No.	事業名	期 日	対 象	人数	趣旨 (ねらい)
1	あかぎ虫の音キャンプ	8/31(土)~9/1(日)	沼田市母子会	40	ひとり親家庭などの児童生徒に体験活動を提供する。

3. 青少年教育指導者対象事業

No.	事業名	期 日	対 象	人数	趣旨 (ねらい)
1	利用団体説明会	①5/2(木) ②7/8(月) ③8/23(金)	令和6年度利用 団体の引率者	各50	国立赤城青少年交流の家を利用する団体の引率者が実際の活動プログラムを体験することで、施設の利用方法や各プログラムの内容を理解する。
2	ボランティア養成セミナー	6/1(土)~6/2(日)	高校生以上	41	ボランティア活動への興味や具体的なイメージをもち、ボランティア活動に参加したいという意識を育て、ボランティア活動を行う上で必要な知識・技能について習得する。
3	自然体験活動指導者 (NEALリーダー)養成事業	6/29(土)~6/30(日)	教育関係者、 青少年教育の指導者を目指す者 大学生、一般	20	ボランティア養成セミナーのスキルアップ講習として、楽しく安全に自然体験活動を指導するために必要なスキルを身に付ける。
4	自然体験活動指導者 (NEALインストラクター) 養成事業	1/11(土)~1/13(月)	自然体験活動指導者資格保持者 でかつ演習Ⅰが 終了している者	15	青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じ、適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を養成する。

4. 家族等対象事業

No.	事業名	期 日	対 象	人数	趣旨 (ねらい)
1	親子キャンプクリスマス編	12/14(土)~12/15(日)	小学生とその保 護者	35	クリスマスに関する体験活動をとおり、家族や参加者同士で交流することの楽しさを感じる機会とする。

5. 「体験の風をおこそう」運動・「早寝早起き朝ごはん」国民運動普及啓発事業

No.	事業名	期 日	対 象	人数	趣旨 (ねらい)
1	さくらフェスタ	4/1(月)~4/14(日)	富士見地区をはじめとする前橋市住民	150	当施設の年度のスタートを知ると同時に施設内で咲いている桜の観賞や体験活動を行う。
2	あかぎフェスタ 2024	10/20(日)	幼児、小学生とその保護者	300	参加した親子が、子供たちの成長に必要な様々な活動を体験する。また、基本的な生活習慣について考える機会とする。

6. 幼稚園・保育園対象研修支援事業 (園・学校単位)

No.	事業名	期 日	対 象	人数	趣旨 (ねらい)
1	ササビー広場で遊ぼう	通年	幼稚園・保育園等	園単位	遊んで身に付く 36 の基本的な動きを身に付けるための場ときっかけを提供する。

令和5年度の教育事業の様子



あかぎ無限大キャンプ



「地域探究プログラム」オリエンテーション合宿



ボランティア養成セミナー



自然体験活動指導者(NEALリーダー)養成事業

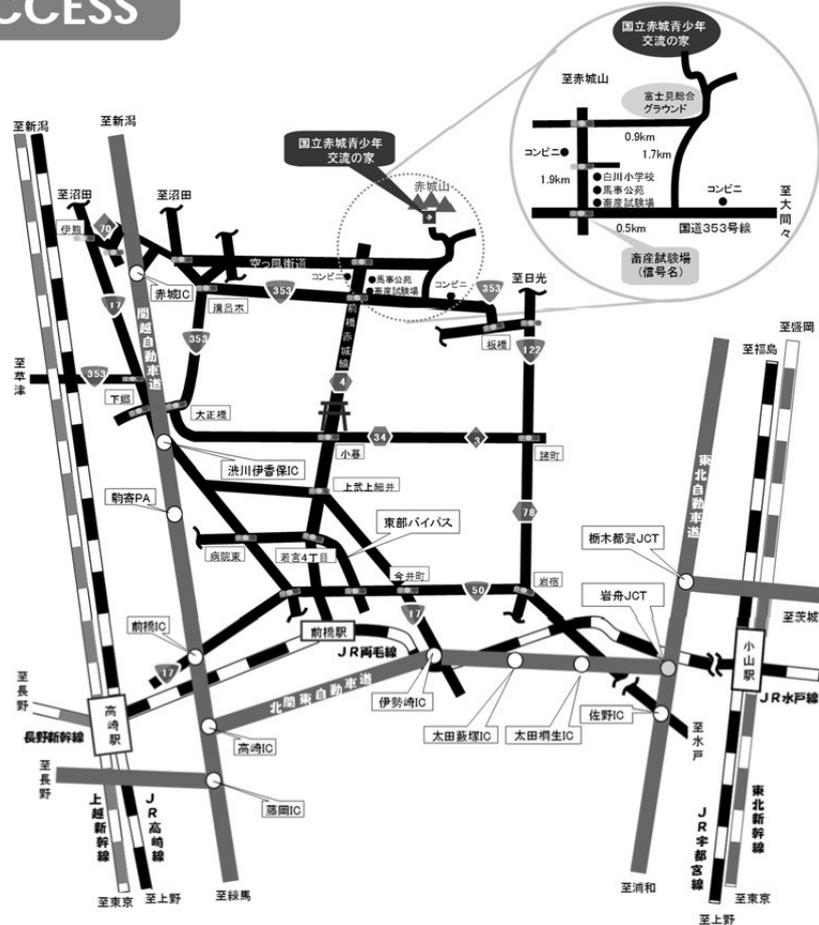


あかぎフェスタ 2023



あかぎフェスタ 2023

ACCESS



【自動車の場合】

- 関越自動車道「赤城 I. C」から約20分
- 北関東自動車道「伊勢崎 I. C」から約45分



【電車の場合】

- J R 両毛線「前橋駅」下車
- 路線バス（関越交通）「国立赤城青少年交流の家」行き40分（片道900円）
- 注：○路線バスは4/1から11/3（予定）のみ運行
- 平日はデマンド運行、**要予約：027-210-5566（関越交通）**
- 土・日・祝は1日1往復で予約は不要
- 3/31以前および11/4以降は路線バスの運行はありません

独立行政法人 国立青少年教育振興機構
国立赤城青少年交流の家

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27
 TEL: 027-289-7224 / FAX: 027-289-7226
 URL: <https://akagi.niye.go.jp/>
 E-mail: akagi-soumu@niye.go.jp



ホームページ



YouTube



Instagram